

研究課題名：	血便における大腸憩室出血と直腸潰瘍の実態調査
所属(診療科等)：	公立昭和病院 消化器内科
研究責任者(職名)：	細川 貴範 (医長)
研究期間：	2018年4月25日～2018年12月31日
研究目的と意義：	<p>血便の原因として直腸潰瘍と大腸憩室出血が挙げられるが、直腸潰瘍では緊急内視鏡を行う際に直腸のみの前処置で検査可能であり、内視鏡による止血が有効であるが、大腸憩室出血は全結腸の前処置が必要であり、前処置に時間と手間がかかる一方、内視鏡で出血源が特定できないことも多く、緊急内視鏡の適応については議論がある。直腸潰瘍と大腸憩室出血を内視鏡前に鑑別し血便に対する適切な治療戦略を明らかにする。</p>
研究内容：	<ul style="list-style-type: none"> ●対象となる患者さん 2012年1月1日から2018年12月31日までに血便を主訴に当院を受診し、直腸潰瘍または大腸憩室出血の診断となった患者さんを対象とする。 ●利用するカルテ情報 診断名、病歴、検査結果、診療についての記録等 ●研究方法 血便を主訴に当院を受診し、直腸潰瘍または大腸憩室出血の診断となった患者さんの病歴、検査結果等について後ろ向きに検討を行う。 ●利用する研究機関の範囲 公立昭和病院
問い合わせ先：	<p>【研究担当者】 氏名：細川貴範 (消化器内科医師) 住所：小平市花小金井8丁目1番1号 電話：042(461)0052(代表) FAX：042(464)7912 【ご意見・相談窓口】(臨床研究・診療内容に関するものは除く) 総務課 042(461)0052 内線2247 受付時間：月～金 9:00～17:00(祝・祭日を除く)</p>